

ふりかえりの進め方

結城洋志

株式会社クリアコード

実践リーダーブルコード

2022-11-02

目的

- ✓ リーダブルの基準を他の人と共有

おさらい：今日の体験内容

- ✓ **まず自分が読み始める**
- ✓ **他の人が書いたコードから
リーダブルコードの工夫を探す**
(「読みにくいコード」は探さない)
- ✓ **リーダブルの基準を
他人と共有する**
(チームのリーダブルコードができる)

ポイント

リーダブルじゃないコードより
リーダブルなコード

リーダーブルじゃないコード

- ✓ 見つけやすい
 - ✓ 異質
 - ✓ 読んでいると詰まる
- ✓ 今日のチャレンジ
 - ✓ 気をとられない

リーダブルなコード

- ✓ 見つけにくい
 - ✓ まわりのコードになじんでいるから
 - ✓ すーっと理解できてひっかからない
- ✓ 今日のチャレンジ
 - ✓ 意識して見つけよう！

共有の準備

- ✓ 3人～4人でグループを編成
- ✓ グループ代表者を1人決める
(誰でも可)
- ✓ 代表者の作業リポジトリに
「発表用まとめissue」を
作成する

やること

- ✓ 各自：よいコードを共有
- ✓ グループ：共有したよいコードを整理
 - ✓ 自分たちの「リーダブルコード」

リーダブルなコードを共有

- ✓ 他の人に説明すること
 - ✓ 実際のコード
 - ✓ リーダブルな理由
 - ✓ 見つけたきっかけ

共有するときのポイント

- ✓ 他の人と
同じことを言ってもよい
- ✓ 同じことを言った
→ より一般的にリーダーブル
ということ

共有方法

- ✓ グループの代表者ごとに発表
 - ✓ 持ち時間は1グループ1回につき3分くらいが目安
 - ✓ 講師の画面でissueを表示、それを見ながら説明

グループ内共有の準備

時間：5分

- ✓ グループから代表者を1人選ぶ
 - ✓ 名前順で最初の人とかでよい
 - ✓ 発表時は画面を共有
 - ✓ その人のリポジトリにissueを1つだけ作る
 - ✓ ↑は共有したリーダブルコードを集める場所とする（まとめスレ）

共有方法

- ✓ コードを見せながら順に紹介
 - a. 代表者から順に紹介
 - b. 1ターンにつき1人1つ紹介
 - c. 自分の画面をグループに共有して見せる
 - d. issueに紹介内容をコメント
 - e. 何ターンか繰り返す

共有内容

- ✓ 書き方の名前
- ✓ コードへのリンク/コード片
- ✓ リーダブルと感じた理由
- ✓ 見つけたきっかけ

共有内容の例1

- ✓ 名前：「統一されたスタイル」
- ✓ コード：

```
void open_TermList(TermList *list, char *path) {
    FILE *fp;
    /* ファイルを開く */
    if ((fp = fopen(path, "r")) == NULL) {
        fprintf (stderr, "ファイルが開けません\n");
        fclose(fp);
        exit(EXIT_FAILURE);
    }
}
```

共有内容の例2

✓ 理由:

- ✓ ファイル内で「)」と「{」の間にスペースを空ける、というスタイルに統一しているので読みやすくなっている。

✓ きっかけ:

- ✓ その場所を自然に読み過ごせたから。

聞くときは

- ✓ 自分が気付いていなかったリーダブルの基準がないか、気をつけて聞こう

グループのリーダブル基準を 検討

- ✓ グループのみんながリーダブルと思うコードを選ぶ
- ✓ 選んだコードを貼るissueを作る
- ✓ あがったコードを1つずつ検討
- ✓ リーダブルなら↑のissueに貼る

グループのリーダーダブル基準

- ✓ issueのコードがそのグループの基準になる
- ✓ 集めてグループの文化にする
 - ✓ メンバーのレベルアップで変わる

ここまでの説明

腑に落ちましたか？

共有の準備

時間：10分

- ✓ 代表で発表する人を決める
 - ✓ グループ内で1人
 - ✓ 発表時は画面を共有
- ✓ グループで発表する
「リーダブルの基準」を選出
 - ✓ 「これは確かにそうだ！」と深く納得できたものを優先
 - ✓ 書籍「リーダブルコード」にないものも優先

発表

- ✓ 自分が気付いていなかったリーダブルの基準がないか、気をつけて聞こう

グループ内での共有開始

15:30まで

全体への共有開始

15:40まで